

工具のいない GC カラム接続 簡単・確実に接続できる 手締めナット

Agilent セルフタイトカラムナット



カラム接続に伴う煩わしさを解消

カラム接続は、昇温プログラムを繰り返すと、カラム接続部が緩み、増し締めが必要な場合があります。この緩みは、ベースラインノイズの増加や不正な分析結果、フィッティングの締め直しに伴う時間のロスといった問題につながります。

カラム接続部の締め直しが不要な 新しい Agilent セルフタイトカラムナット

セルフタイトカラムナットを使えば、高価なアップグレードやアダプタがなくても、確実な接続が実現します。さらに、次のような特長があります。

- － 信頼性の高い接続：革新的なスプリング式ピストンの圧力により、グラファイト/ポリイミドショートフェラルと注入口の密着性が継続的に維持されます。数百回の注入後もリークのないシールを維持できます。
- － より優れた安定性：新機能のロッキングカラーにより、カラムの取り付けの長さでフェラルの位置が正確に固定されます。もうセプタムでナットの位置を固定する必要はありません。
- － 無駄な時間を短縮：オープン昇温プログラム後に、カラムナットを締め直す必要がありません。
- － 使いやすさ：指で締められるため、スパナなどの工具が必要ありません。どなたでも一貫性の高いカラム接続が可能です。
- － 迅速なメンテナンス：低トルクのため、取り外しの際のフェラルの貼りつきや割れが防止されます。
- － 低カラムブリード：最大限のカラム寿命が実現します。

※ カラー内側にはソフトラバーが付いており、手で締めこんでもカラムが折れることはありません。カラーには切り込みが入っていますので、カラムを注入口に取り付けたらカラーを取り外してください。

※ カラーを取り付けたままで加温すると、カラー内部のソフトラバーが溶けることがあります。



固定しやすい新しいロッキング カラー

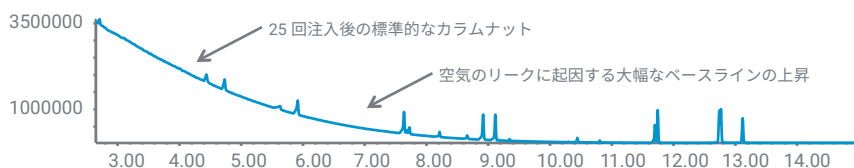
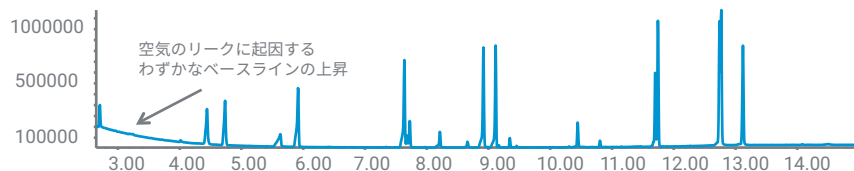
カラムを容易に固定し、一貫したカラム長を維持できます。また、取り付け前にカラム長を測定し固定できるので MS 機器のカバーを開く必要がありません。これにより、真空漏れのリスクを排除します。

確実なカラム接続を長期にわたり実現

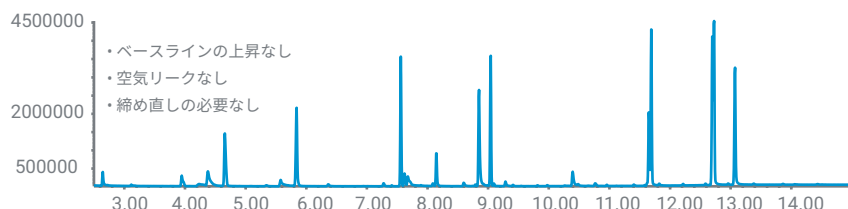
標準的なカラムナットとセルフタイトカラムナットの比較

標準的なカラムナットでは、締め直したあとでも、わずかに空気のリークが生じる場合があります。Agilent セルフタイトカラムナットでは、400 回の注入を経ても、リークの問題は生じていません。

締め直したばかりの標準的なカラムナット



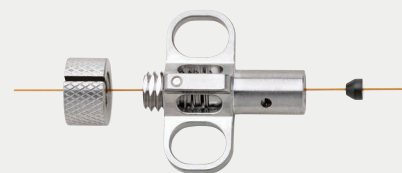
400 回注入後の Agilent セルフタイトカラムナット



2 つの構成を用意: 同じショートフェラールを使用



セルフタイトカラムナット、GC 注入口、検出器用
(p/n G3440-81011)



セルフタイトカラムナット、MS トランスファライン
用 (p/n G3440-81013)

生産性の向上と一貫した高品質のデータを得るための 3 つの方法

1. Agilent Intuvo 8890 および 8860 GC システムの 新しい GC インテリジェンスにより、自己診断機能やリモート接続を利用して、時間を有意義に使うことができます。
2. Agilent サンプル前処理製品によってラボの不確実性を低減し、一貫したフロー、クリーン性、回収率を得られます。
3. Agilent J&W GC カラムは、シャープなピーク、きわめて高い不活性度、確実なカラム間再現性を実現します。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2019
Printed in Japan, August 14, 2019
5994-1253JAJP